

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年10月10日(2013.10.10)

【公開番号】特開2011-68643(P2011-68643A)

【公開日】平成23年4月7日(2011.4.7)

【年通号数】公開・登録公報2011-014

【出願番号】特願2010-190842(P2010-190842)

【国際特許分類】

A 61 K 35/74 (2006.01)

A 61 P 37/08 (2006.01)

A 61 P 11/02 (2006.01)

A 61 P 43/00 (2006.01)

A 61 K 39/36 (2006.01)

A 61 K 39/35 (2006.01)

【F I】

A 61 K 35/74 A

A 61 P 37/08

A 61 P 11/02

A 61 P 43/00 1 2 1

A 61 K 39/36

A 61 K 39/35

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月21日(2013.8.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

乳酸菌および抗原物質を含み、口腔内に投与されることを特徴とする抗アレルギー剤。

【請求項2】

前記乳酸菌が、抗原提示細胞上の抑制刺激分子PD-L2発現を増強する機能を有する乳酸菌である請求項1に記載の抗アレルギー剤。

【請求項3】

前記乳酸菌がLactobacillus paracasei KW3110である請求項1または2に記載の抗アレルギー剤。

【請求項4】

前記抗原物質が花粉抗原である請求項1から3のいずれか1項に記載の抗アレルギー剤。

【請求項5】

花粉抗原がスギ花粉抗原である請求項4に記載の抗アレルギー剤。

【請求項6】

舌下に投与されることを特徴とする請求項1から5のいずれか1項に記載の抗アレルギー剤。

【請求項7】

気道アレルギー疾患を対象に投与されることを特徴とする請求項1から6のいずれか1項に記載の抗アレルギー剤。

【請求項8】

気道アレルギー疾患がアレルギー性鼻炎である請求項7に記載の抗アレルギー剤。

【請求項 9】

加熱処理された*Lactobacillus paracasei* KW3110およびスギ花粉抗原を含み、スギ花粉によるアレルギー性鼻炎を対象に、舌下に投与されることを特徴とする抗アレルギー剤。

【請求項 10】

加熱処理された*Lactobacillus paracasei* KW3110およびスギ花粉抗原を含み、スギ花粉によるアレルギー性鼻炎を対象に、舌下に投与される抗アレルギー剤であって、該*Lactobacillus paracasei* KW3110の用量が50mg / 日であり、該スギ花粉抗原の用量が4 ~ 2000JAU / 日であることを特徴とする抗アレルギー剤。